

民報あばしり

NO.1046

2015.11.29

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
五四三・四四五八
F 四三・四四五七



若い候補のフレッシュな訴えに元気もらう

24日午前10時からエコセンターで日本共産党フレッシュ演説会があり、雪が降る中、70人近い参加者で行われました。

最初に松浦敏司党市委員長から開会のあいさつがあり、続いて、森つねと選挙区予定候補から日本共産党が発表した戦争法廃止の「国民連合政府」について話されました。「戦争法は、一日も早くなくしたい。この一点で野党は共同してほしい」というのが、国民の声です。



最後に「私の子は緊急手術をして、手のひらに乗るほどの658gで生まれ、幸い生きて退院できた。命の尊さを肌で感じている」。世界中から戦争やテロをなくしたい。参院選で必ず日本共産党の躍進を訴えました。

いわぶち友比例予定候補は、候補要請があった時、今度は女性候補を半分にした。原発事故を抱えた福島から聞き決意したこと。原発問題では「安倍政権が避難解除を急ぎ、原発事故を過去のものにしようとしている」と述べ、福島県に日本共産党の国会議員が必要との思いを強くした。来年の選挙では、選挙区で森候補を、比例では日本共産党と書いていただき、いわぶち友を国会に送って下さいと訴えました。

最後に後援会から両候補者に毛糸の帽子とネックウオーマー等がプレゼントされました。参加者から「森候補は元気で、わかりやすい話だった」、「いわぶち候補の話はソフトで、原発問題では、わかりやすかった」と感想を述べていました。

候補者も

日本共産党フレッシュ演説会が24日に行われました。朝から雪が降っていて開会10時という事で大変心配しましたが、多くの市民のみなさんに参加していただきました。

来年の参議院選の選挙区候補の森つねとさんは37歳、比例代表候補のいわぶち友さんは39歳という若くてフレッシュな候補者です。いわぶち友候補は、網走では初お目見えとなりましたが、お話も分かりやすく、ソフトでもとても親しみを感じた。演説会後、地元新聞社を敬訪問して取材を受けましたが、記者の質問にも的確に答えている姿に頼もしさも感じました。参議院選挙まで8ヶ月となりましたが、日本共産党が呼びかけている「国民連合政府」実現に向けて、政党・団体・個人の力を結集して戦争法をなくしましょう。そのためには参院選で躍進を...

「戦争法廃止」あきらめない！会場熱気に包まれる！

「ストップ！戦争法網走の会」が開いた「講演会」が、21日（土）午後1時30分からB&Bあばしりで開かれました。時折小雪が舞うあいにくの天気でしたが、会場には90人の参加者でいっぱいになりました。全道を飛び回り、「戦争法」の違憲性や、日本国憲法のすばらしさを講演する『明日の自由を守る若手弁護士の会』共同代表の神保弁護士の熱のこもった話に、メモを取りながら聞く参加者もいました。



初めて『講演会』に参加したという女性は「見たとき頼りない感じがしたが、話は素晴らしかった。2時間近くもよく話が出来たものだ」と感心し、「また明日から頑張れます」と話していました。「ストップの会」では、「戦争法廃止」の20000万署名に取り組んでいます。

流水

「独裁政治」がもたらすものは「赤旗」記者だった頃、TPP（環太平洋連携協定）の問題で何度も訪れた地域。取材にに応じてくれた農家の男性が語った言葉を今でも覚えています。「農業がだめになって困るのは都会のみなさんですよ。俺たちは自分らの食べる物をつくれるんだから」札幌で生まれ育ち、食料をいただく側だった私にとって頭を殴られるような思いでした。▼先日、同じことを語る酪農家の男性がいました。TPP調査で山和也衆院議員と胆振地域を訪れたときのこと。この男性は私たちの訪問を歓迎していない様子で、「言いたいことはない」と頑（かたく）なでした。▼しかし、粘り強く実態を聞くなかで、少しずつ本音を語ってくれます。安全保障や環境の面から食料は自国で生産すべきだということ。安倍政権のもとで農業の展望が見えないもどかしさ。そして、日本の農業が壊滅したとき、「困るのは消費者」だと。▼玄関先でのやり取りでしたが、帰るときは外に出て、私たちの車が見えなくなるまで見送ってくれました。▼ある農協組合長は怒ります。「国会決議や（自民党の）選挙公約があったのに、『大筋合意』とは何だ」「民主主義ではない。独裁だ」。農民が支持しないTPPは撤退しかありません。（森つねと）